

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の流行について（注意報）

平成27年10月29日（木）15時00分

北海道北見保健所

電話：0157-24-4173

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、平成27年第43週（平成27年10月19日～平成27年10月25日）において、北見保健所管内の定点医療機関あたりの流行性耳下腺炎患者報告数は、注意報基準である3人以上となりましたので、まん延を防止するため注意報を発令します。

今後、北見保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 流行性耳下腺炎の感染予防

流行性耳下腺炎感染予防にはワクチンが有効です。接種を希望される場合はかかりつけの医師に相談してください。

罹患したときは2次感染を防ぐために、医師の指示があるまで保育園や幼稚園、学校への登園・登校は控えるようにしてください。

2 流行性耳下腺炎とは

流行性耳下腺炎は、「おたふくかぜ」とも呼ばれ、ムンプスウイルスの飛沫感染により2～3週間の潜伏期を経て発症し、片側あるいは両側の唾液腺（耳下腺など）の腫脹を特徴として、発熱や嚥下痛を伴う感染症です。

合併症として無菌性髄膜炎、脳炎、睇炎、難聴等があります。

3 その他

(1) 最近5週における定点医療機関からの流行性耳下腺炎患者報告状況

(表示は、「報告数(患者/定点)」単位：人)

	第39週 (9/21～9/27)	第40週 (9/28～10/4)	第41週 (10/5～10/11)	第42週 (10/12～10/18)	第43週 (10/19～10/25)
北見保健所	0 (0.00)	5 (1.25)	2 (0.50)	3 (0.75)	12 (3.00)※
全道	92 (0.65)	116 (0.82)	98 (0.69)	126 (0.89)	- (-)
全国	1,437 (0.46)	1,896 (0.60)	1,823 (0.58)	1,776 (0.56)	- (-)

※第43週の患者報告数は速報値。

第42週までは、北海道感染症情報センター公表のデータによる。

(URL：<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

(2) 流行性耳下腺炎注意報・警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、全道の定点医療機関を受診した流行性耳下腺炎患者数が、国立感染症研究所において設定した注意報・警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを指します。

<流行性耳下腺炎の注意報・警報レベル>

	注意報レベル	警報レベル	
	基準値	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数(人)	3	6	2